



スポーツ少年団交歓大会で 交流を深めました

12月18日(日)、ふれあいの里公園および町総合体育館を会場に「大崎町スポーツ少年団交歓大会」が開催され、町内のスポーツ少年団から14チーム、約150名が参加しました。

大崎町陸上競技連盟の入江田吉文さんによるランニング講座で体の使い方を学んだ後、交流活動として団対抗の駅伝競走がおこなわれました。日頃のチームワークを1本のタスキに託し、駅伝を通じて相互交流と親睦を深めました。仲間の走りに、チームの応援も白熱していました。

【大崎町スポーツ少年団参加チーム】

大崎ソフトボール・野方バレーボール・
大崎水泳・大丸スイミング・中沖複合・
野方球友・菱田バレーボール・
FC.OSAKI・大崎FVC・大崎空手会



都萬神社にポスターを奉納

大崎中学校の特別支援学級「虹・スマイル組」の生徒14名が、初詣と「おおさき福男福女選び」に合わせてポスターを作成し、12月19日(月)、都萬神社に奉納しました。

ポスターはお正月や卯年にちなんだイラストや折り紙で賑やかにデコレーションされています。生徒は自己紹介で将来の夢や新年の抱負を述べ、都萬神社総代会役員と交流しました。

3年の竹井心太郎こたろうさんは「1か月かけて作りました。奉納してくださると嬉しいです」とあいさつしました。



台湾と相互交流に関する覚書を締結

12月16日(金)、台湾陸上協会と相互協力に関する覚書を締結し、東町長はオンラインで出席しました。

町はこれまで、2020東京オリンピック・パラリンピックの際に台湾のホストタウンとして、事前合宿の受入れなどをおこない、交流をしてきました。今回の締結で、ホストタウンで培った友好関係を継続し、陸上競技を軸に、より一層の関係性の構築と住民同士の交流を図っていきます。

台湾陸上協会の王景成わん じんちえん秘書長は「次のオリンピックでも、練習地として最も優れた大崎町で最優秀な選手たちを合宿させたいので、お力を貸してください」と話されました。